



つづく つながる 夢が育つ学び舎
国立二小だより

平成31年4月8日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

つづく つながる 夢を育てる学び舎

校長 小林 理人

30年続いた「平成」から新しい元号「令和」にかわる節目の年度が始まりました。そして、元号だけではなく学校を取り巻く社会の様子も大きく変わることが予想されます。しかし、国立二小には毎年変わらない四季折々の佇まいがあります。

春は満開の桜が希望に胸を膨らませた子供たちを迎えます。正門から校舎へと続く桜並木は国立二小の春の風物詩です。夏、子供たちは、二松をはじめとした樹木の木陰で暑さをしのぎます。そして、秋には色鮮やかな紅葉と、ブドウや柿、花梨、胡桃などの秋の実りが子供たちや地域の皆さんの生活に潤いを与えています。冬になると1年生はミカンを収穫し、国立二小のリーダーである6年生に、感謝の気持ちを込めてプレゼントします。この豊かな四季の佇まいの中で子供たちは成長し、未来に向けての夢や、母校である国立二小への愛情が育まれます。

国立二小は学びの共同体です。子供たちに技や知識を伝承することで地域の大人と子供がつながる二松クラブは、昨年15年目を迎えました。地域や保護者の皆様とともに協働で行う「にーだんごの会」「学校に泊まる会」は子供たちの郷土愛や仲間意識を育てる年中行事です。また、読書活動や防災訓練、集団登校、盆踊りや地域のイベントで披露する6年生の二松ソーランや金管バンドによる演奏など、学校と地域が協働して行う活動は、「子供が主役の学校づくり」の中核となる活動になっています。

このように国立二小の四季折々の佇まいと、子供の幸福と成長を願う協働的な教育活動は、学校と地域が守り育てたかけがえのない国立二小の財産です。

校舎の老朽化に伴う建て替えに際し、国立二小を舞台にして育まれた「絆」と「教育力」という財産の継承を大切に校舎建て替えの計画づくりを進めました。そして、その学校への想いを計画づくりの理念にしました。

「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

この言葉は、校舎の建て替え計画(二小マスタープラン)を策定するための理念であるとともに、私たちがめざす学校像でもあります。国立二小がこれまで育んできた「絆」と「教育力」を、子供たちが「予測困難」と言われるこれからの社会の変化に対応し、未来を切り拓く力を身に付けるために活かしていきます。

4月のテーマは「希望」

1年間のスタートである4月は、大きな環境の変化に慣れるまで、子供たちは不安などを感じることもあるかもしれません。しかし、新しい環境や新しく学ぶ内容や方法などからめあてを決めたり、1年間の活動に見通しをもったりすることで、不安や戸惑いがなくなり、

「希望」がもてるようになります。そして、その「希望」が成長、飛躍に向けての大きなエネルギーとなります。

そこで、4月は子供たちが自分のよさや得意なこと、がんばりたいことに目を向けて、個々の学習や生活の向上につながる「めあて」がもてるよう、丁寧に指導していきます。

平成31年度 教育目標

私たちは、一人一人の子供たちのよさや可能性を生かし、他者と協働しながら豊かな人生を切り拓く資質・能力を育てるために以下の学校教育目標を掲げ、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育を目指します。

知	かしこく	意欲的に学ぶ子	よく考え表現する子	平成31年度 重点目標
徳	あたたかく	仲間と共に成長する子	全ての命を大切にする子	
体	つよく	健康でたくましい子	目標をもってやりぬく子	

新しい学習指導要領に示された未来を拓き、未来に生きるために必要な力を身に付ける教育活動の充実を目指し、「**かしこく 意欲的に学ぶ子 よく考え表現する子**」を平成31年度の重点目標とし、指導の重点化、焦点化を図ります。

私たちが目指す学校

つづく つながる 夢を育てる学び舎

国立二小の環境や伝統を、みんなで守り育てる学校（つづく・つながる学校）

全ての子供のよさ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校（夢を育てる学校）

学校づくりに主体的にかかわる力と豊かな人間性を育む学校（子供が主役の学校）

社会生活の基盤をつくる小学校では、子供たち一人一人の生きる目標や未来を切り拓くエネルギーとなる「**夢**」を育てます。そして、国立二小では、地域とともに守り育てた豊かな環境やよき伝統を教育活動に活かし、一人一人の「**夢**」につながる

「よさ」「可能性」を伸ばすことや、「自己肯定感」を育てることを大切にします。

また、地域、保護者の皆様との**人のつながり、活動のつながり**を大切にしたい「**チーム学校**」として、国立二小の豊かな環境やよき伝統を未来につなげていきます。

そして、学校や地域づくりに子供たちが主体的にかかわる「**子供が主役の学校**」として、未来を切り開く力や共生社会を創る豊かな心を育てます。